

- 問1 衆議院は任期が4年で解散があるのに対し、参議院は任期が6年と長く、解散もありません。参議院においてこのような制度が採用されている理由として、最も適切な説明を選びなさい。(2024年 北海道公立入試 類似)
1. 解散による影響を受けず、政治の継続性や安定性を確保し、長期的な視点から慎重に審議を行うため
 2. 衆議院よりも議員定数が多いため、選挙回数を減らして公費の支出を抑制する必要があるため
 3. 内閣総理大臣の指名や予算の先議権など、衆議院よりも強い権限を持っているから
 4. 特定の政党が常に過半数を維持できるようにし、政府の方針が頻繁に変わるのを防ぐため
- 問2 日本の参議院議員選挙における比例代表制の説明として、最も適切な仕組みを述べているものはどれですか。(2020年 山形県公立入試 類似)
1. 全国を一つの単位として、有権者は政党名または候補者名のいずれかを記入して投票する。
 2. 全国を11のブロックに分け、有権者は政党名のみを記入して投票する。
 3. 各都道府県を単位として、最も得票数の多い候補者一人が当選する。
 4. 政党があらかじめ決めた順位に従って、得票数に応じた議席が割り振られる。
- 問3 ある選挙区の統計において、1位の候補者が5万票を獲得して当選し、2位の候補者が4万9千票、3位の候補者が1万票を獲得して落選した事例を想定します。このような小選挙区制が持つ政治的な影響について述べた文として、最も適切なものを選んでください。(2026年 鹿児島公立入試 類似)
1. 死票が多く発生するため、大政党に有利な議席配分となりやすく、政局が安定しやすい。
 2. 死票が少ないため、得票数に応じて各政党に議席が割り振られ、少数派の意見が反映されやすい。
 3. 死票を最小限に抑える仕組みであるため、多くの政党が議席を獲得し、多党制を促す効果がある。
 4. 死票の影響を考慮して、2位以下の候補者の得票も一定の割合で議席に加算される仕組みになっている。
- 問4 日本の選挙制度において、各選挙区の有権者数に差があることで、議員一人を選出するのに必要な票数が異なり、有権者が投じる一票の影響力に不平等が生じる問題を何と称しますか。(2026年 奈良公立入試 類似)
1. 一票の格差
 2. 死票の増大
 3. 連座制の適用
 4. 政党助成制度の不備
- 問5 現代の政党政治において、選挙の結果に基づいて議会で多数を確保し、内閣を組織して実際に政治を動かす立場にある政党のことを何と呼ぶか。(2021年 山口公立入試 類似)
1. 与党
 2. 野党
 3. 公聴会
 4. 圧力団体
- 問6 日本の選挙制度において、国民が公職に就くために立候補できる権利を「被選挙権」といいます。このうち、参議院議員の被選挙権を得るために必要な年齢要件として正しいものはどれか、選びなさい。(2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 満18歳以上
 2. 満25歳以上
 3. 満30歳以上
 4. 満35歳以上
- 問7 選挙区によって有権者の数に大きな違いがあるため、議員1人あたりの有権者数に差が生じ、国民が投じる一票の重みが不平等になってしまう問題を何と称しますか。(2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. 一票の格差
 2. 死票の増加
 3. 比例代表制
 4. 小選挙区制
- 問8 日本の選挙制度に関する統計において、20歳から39歳の投票率が44.7%であるのに対し、60歳から79歳では74.5%と非常に高くなっている現状があります。このような世代間の投票率の差が政治に与える影響として、最も適切な説明を選びなさい。(2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 政治家が投票率の高い高齢層に向けた政策を重視しやすくなり、若い世代の意見が政治に反映されにくくなる。
 2. 若い世代の投票率が低いため、選挙管理委員会が若者の票を2倍として計算する調整が行われる。
 3. 高齢層の投票率が高すぎることで、若者の意見が自動的に優先される仕組みが国会で採用される。
 4. 世代間の投票率の差は、各政党が若者向けの公約を増やす直接的な原因となり、若者の政治参加を促す。
- 問9 一つの選挙区に対し複数の立候補者が立てられるものの、その中から最も多くの票を得た1名のみが当選者として選出される選挙制度を何と称しますか。(2025年 秋田公立入試 類似)
1. 小選挙区制
 2. 大選挙区制
 3. 比例代表制
 4. 拘束名簿式比例代表制
- 問10 ある選挙において、得票数に応じて議席を配分する計算モデル（ドント式など）を用いて議席を決定する比例代表制について、この制度が小規模な政党にとっても有利に働く理由として、適切な説明を選んでください。(2024年 島根公立入試 類似)
1. 政党の得票率に基づいて議席が割り振られるため、全国的に一定の支持があれば議席を得る機会があるから。
 2. 小選挙区ごとに最も多くの票を集めた候補者が当選する仕組みであり、特定の地域で強い支持があれば良いから。
 3. 有権者が候補者の氏名を書いて投票するため、知名度の高い新人が政党の枠を超えて当選しやすいから。
 4. 一票の格差を是正するために、人口の少ない地域の議席数をあらかじめ多く割り当てているから。
- 問11 第二次世界大戦後の1945年に行われた衆議院議員選挙法の改正により、日本で初めて女性参政権が認められました。この改正によって新たに定められた、選挙権を得るための条件として正しいものはどれですか。(2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 満20歳以上の男女
 2. 満25歳以上の男女
 3. 満20歳以上の男子のみ
 4. 満25歳以上の男子のみ
- 問12 ある年の衆議院小選挙区の統計において、東京都第1区の有権者数が約49万人であるのに対し、宮城県第5区は約23万人となっていました。このように、選挙区ごとの有権者数の違いによって生じる問題とその内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。(2016年 茨城県公立入試 類似)
1. 議員一人あたりの有権者数に差が生じることで、国民が持つ一票の重みに不平等が生じる問題
 2. 落選した候補者に投じられた票が議席に結びつかず、国民の意見が反映されにくくなる死票の問題
 3. 人口の多い都市部の意見ばかりが国政に反映され、地方の自治権が侵害される問題
 4. 選挙区ごとに投票率の差が大きくなり、特定の政党が有利になってしまう問題
- 問13 日本の選挙制度において、満18歳以上の国民に選挙権を認めることや、衆議院議員には満25歳以上、参議院議員には満30歳以上で立候補できるといった、具体的な選挙のルールを定めている法律を選択してください。(2020年 佐賀公立入試 類似)
1. 公職選挙法
 2. 教育基本法
 3. 日本国憲法
 4. 地方自治法

答え合わせ・解説

問1	答え 1 解散による影響を受けず、政治の継続性や安定性を確保し、長期的な視点から慎重に審議を行うため	衆議院は解散があることで、その時々国民の意思を敏感に反映する役割（国民の意思の反映）を担っています。これに対し、参議院は解散がなく任期が長いこと、衆議院の行き過ぎをチェックしたり、短期的な世論に流されずに長期的な視点で議論を深めたりする役割（政治の安定）が期待されています。このため参議院は「良識の府」とも呼ばれます。
問2	答え 1 全国を一つの単位として、有権者は政党名または候補者名のいずれかを記入して投票する。	参議院の比例代表制は、衆議院の比例代表制（全国11ブロックでの実施）とは異なり、全国を一つの単位として行われます。また、有権者が「政党名」だけでなく「候補者名」を書いて投票できる「非拘束名簿式」が採用されている点が特徴です。政党の総得票数は、政党名での投票と、その政党の候補者名での投票を合計したものになります。
問3	答え 1 死票が多く発生するため、大政党に有利な議席配分となりやすく、政局が安定しやすい。	小選挙区制では、例えば僅差であっても2位以下の票はすべて死票となるため、多数派の支持を得た大政党が議席を独占しやすくなります。これにより、二大政党制になりやすく、政権を担う政党が安定するという政治的効果が生まれます。一方で、少数派の意見が無視されやすいという課題もあります。
問4	答え 1 一票の格差	日本国憲法が定める「法の下での平等」に基づき、すべての有権者の投票価値は等しくあるべきだとされています。しかし、都市部への人口集中などによって選挙区ごとの有権者数に偏りが出ると、一票の重みに差が生じてしまいます。この問題を解消するために、国会では選挙区の区割り（境界線）を見直すなどの対策が議論されます。
問5	答え 1 与党	議会制民主主義をとる国々では、国民の代表である議員が所属する政党を中心に政治が行われます。その中で、行政権を持つ内閣の構成員（大臣など）を出し、予算や法律の案を作成して国政を運営する責任を負うのがこの立場です。一方、政権を担わずに政府の監視や批判を行う政党は野党と呼ばれます。
問6	答え 3 満30歳以上	選挙に立候補できる権利を被選挙権と呼び、衆議院議員や市区町村長、地方議会議員は満25歳以上で得られます。一方、参議院議員と都道府県知事については、より慎重な判断や経験が期待されるという考えから、衆議院よりも高い満30歳以上という年齢制限が憲法および公職選挙法によって定められています。なお、投票ができる「選挙権」は満18歳以上の男女に与えられています。
問7	答え 1 一票の格差	日本国憲法が定める「法の下での平等」に反する状態として、しばしば裁判でも争点となります。議員1人あたりの有権者数が少ない選挙区ほど、一票が議席に結びつく割合が高くなるため、一票の価値が「重い」と表現されます。
問8	答え 1 政治家が投票率の高い高齢層に向けた政策を重視しやすくなり、若い世代の意見が政治に反映されにくくなる。	選挙において候補者や政党は、当選するために多くの票を得る必要があります。そのため、投票率が高い世代の要望を優先して政策に掲げる傾向が生じます。若年層の投票率が低い状態が続くと、社会保障や教育など若年層に関わる課題よりも、高齢層向けの政策が優先され、結果として「若い世代の意見」が政治の場で「反映されにくい」という課題が生じます。
問9	答え 1 小選挙区制	一つの選挙区から一人の代表を選出する仕組みは小選挙区制と呼ばれます。この制度では、候補者が一人に絞られるため、有権者にとって選択が分かりやすく、特定の政党が議席の多くを占めることで強力な政権が誕生しやすいという特徴があります。一方で、当選者以外の候補者に投じられた票が議席に結びつかないという側面も持っています。
問10	答え 1 政党の得票率に基づいて議席が割り振られるため、全国的に一定の支持があれば議席を得る機会があるから。	比例代表制では、各選挙区や全国ブロック単位での「政党」への総得票数が議席決定の基準となります。小選挙区制のように「1位」にならなければ議席が得られない仕組みとは異なり、全体の得票率に応じた議席が配分されるため、小規模な政党であっても支持者の数に見合った議席を確保しやすくなります。これにより、二大政党制よりも多党制になりやすい傾向があります。
問11	答え 1 満20歳以上の男女	戦後の民主化政策の一環として、1945年に選挙法が改正されました。これにより、それまでの「満25歳以上の男子」という制限が撤廃され、女性参政権が実現するとともに、年齢制限も満20歳以上に引き下げられました。これはGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）が求めた「五大改革」のうち、婦人の解放と政治的権利の付与に基づいた改革です。
問12	答え 1 議員一人あたりの有権者数に差が生じることで、国民が持つ一票の重みに不平等が生じる問題	憲法が保障する「法の下での平等」に基づき、選挙権の価値はすべての国民で等しくあるべきだとされています。有権者数が少ない選挙区では、一票が議席に及ぼす影響（一票の重み）が相対的に大きくなるため、この格差を放置することは民主政治の公平性を損なう課題となります。選択肢にある「死票」は、小選挙区制において当選者以外に投じられた票が死んでしまう別の問題を指します。
問13	答え 1 公職選挙法	有権者の年齢制限や、衆議院・参議院で異なる被選挙権（立候補できる権利）の年齢、投票の方法、さらには候補者の選挙運動のルールなどを詳細に規定しているのがこの法律です。日本国憲法が掲げる国民主権や普通選挙の原則を、実際の社会で運用するための具体的な仕組みが定められています。